

【情報公開文書】

2022年7月20日作成

Ver.1.4

研究課題名	長崎における切除不能・進行再発胃癌に対する化学療法の戦略を確立するための観察研究
所属（診療科等）	長崎大学病院 大腸・肛門外科
研究責任者	小林 和真（講師）
研究分担者	長崎大学病院 肝胆膵外科・肝移植外科 松隈 国仁（医員）
研究機関	この研究は長崎大学病院のみで実施します。
研究期間	2020年8月18日～2029年12月31日
研究目的と意義	本邦は65歳以上の高齢者が25%以上の超高齢社会ですが、長崎の高齢化率は更に高いとされております。本研究は患者さんのカルテ情報を用いて、切除不能・進行胃癌に対する化学療法の治療効果や副作用の発現率を解析するもので、本研究を行うことで、QOLを保った生活を送れるようにする戦略を立てることに役立ち、高齢化が進む本邦における胃癌治療に有益な示唆を与えると考えます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 切除不能進行・再発胃癌の患者さんで2004年1月1日から2023年12月31日までに長崎大学病院大腸・肛門外科で化学療法を最低1コース施行した患者さん</p> <p>●利用する情報 ①患者背景：性別、年齢、ECOG-PS、腫瘍の状態、手術日と手術内容、術後補助化学療法の期間とレジメン 既往化学療法の期間とレジメン、HER2タンパク発現、UGT1A1遺伝子多型 ②自覚所見 ③臨床検査 ④感染症 ⑤腫瘍マーカー ⑥画像検査 ⑦抗腫瘍効果 ⑧有害事象 各大項目の詳細が知りたい方は、下記の研究担当者にお尋ね下さい。</p> <p>●研究の概要・方法 上記のカルテ情報を用いて、手術移行率、レジメン別奏効率（CR+PR割合）病勢コントロール率（CR+PR+SD割合）、レジメン別の治療経過、有</p>

	害事象について高齢者と若年者の比較も行いつつ検討します。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：小林 和真（医師）、松隈 国仁（医師） 長崎大学大学院 移植・消化器外科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095-819-7200（代表） 095-819-7316（移植・消化器外科 医局） 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>